

生物・心理・社会モデル
Bio-Psycho-Social model
とは？

近藤 直司

生物-心理-社会モデル Bio-Psycho-Social model

- 生物 = 脳を含む「からだ」 身体、肉体、生理ともいう
- 心理 = 「こころ」 精神ともいえる
- 社会 = その人を取り巻く対人関係と環境

生物-心理-社会モデル Bio-Psycho-Social model

生じている事態・状況を、生物的要因、心理的要因、社会的要因の相互作用として認識する方法

精神医学モデルの変遷

- 教条主義：生物主義、心理主義、社会主義
- 折衷主義：生物－心理－社会モデル
- 多元主義
- 統合主義

N・ガミー、2010

精神医学におけるBPSモデルの 歴史的検証（N・ガミー 2010）

1940年頃 Frankl, V.E.

1946年 Romano, J. and Engel, G.L.

1952年 Grinker, R.R.

1977年 Engel, G.L.

WHOの結成と憲章における 「健康」の定義に結実（1948）

健康とは、病気でないとか、弱っていないという
ことではなく、肉体的にも、精神的にも、そして
社会的にも、すべてが満たされた状態(well-being)
にあることをいう。（日本WHO協会による訳）

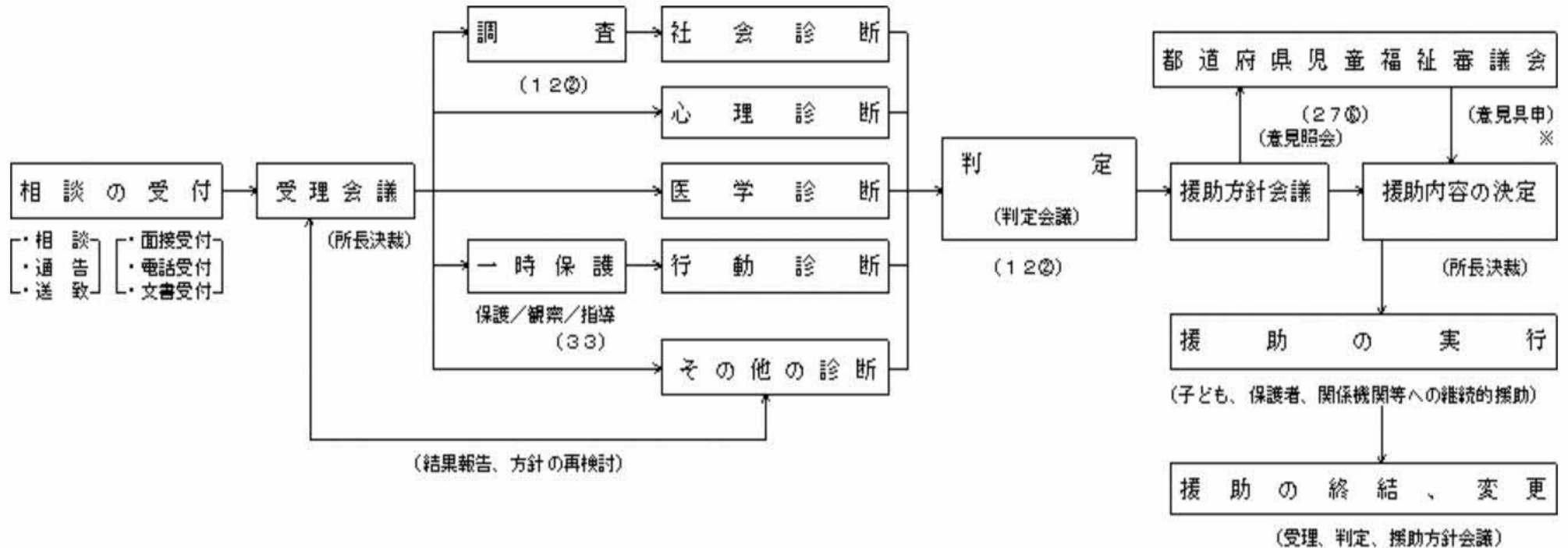
- Well-beingには、幸福、福祉、福利などの訳語もある
- Social well-beingは良好な対人関係と生活環境を含む

小括：BPSモデルの成り立ち

- 全人的な理解を目指す精神医学
- 予防と健康増進を目指す公衆衛生学
- 1940年代から医学に通底する概念に
- 1980年頃から医学教育の中心概念に

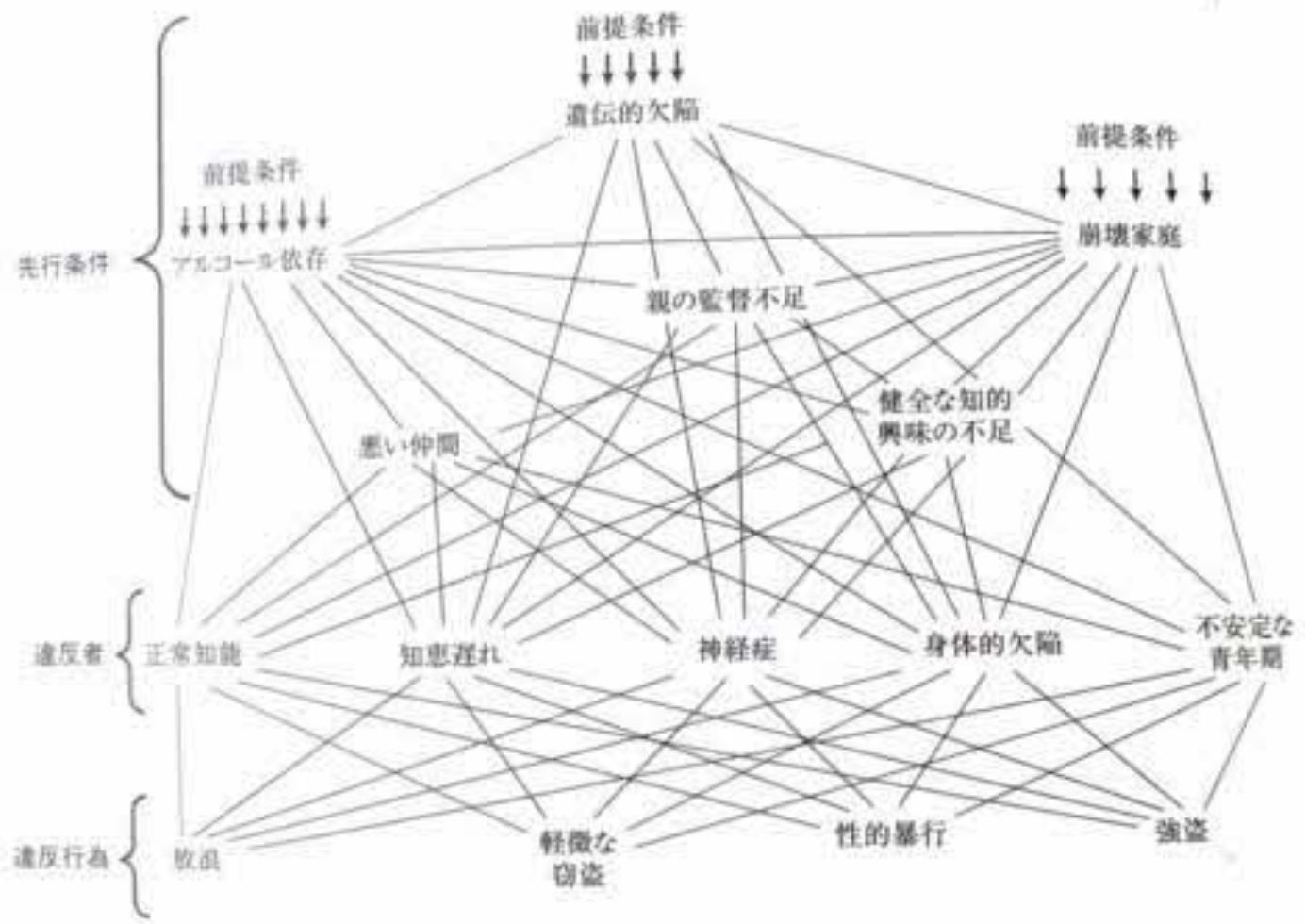
児童相談所の運営指針について:図表

図-1 児童相談所における相談援助活動の体系・展開



社会福祉実践とBPSモデル

- 慈善活動としてのChild Guidance Clinic（1917年、ボストン）における医師、心理職、SWの配置
- 精神生物学（Meyer, A., 1908）の影響
- “total child”という視点
- 我が国の児童相談のはじまり（1948年）



いくつかの明確な先行条件と結果の系列あるいは連合の図式

図2-1 ヒーリーによる原因の蜘蛛の巣状の関係
(少年非行の複雑な性質を表している)

ウィリアム・ヒーリー「個人の非行」(Boston: Little, Brown and Co., 1915), p. 165.

C・ジョーンズ：アメリカの児童相談の歴史。
明石書店、2005より



アリス・キャロル女史

を紹介し、子供たちに英会話を教える配慮を示している。竹田俊雄は、当時浮浪児の扱いについて要点を示したが、それによると、「浮浪児を施設にひきつけるためには、子供たちをして『施設はいいな』と思わせるものをもたなければならない。施設の文化は子供の心理に適応し易いようにする一つの素地をつくるものであるが、この施設への受入れや、少なくとも初期の指導は、子供に強制力を感じないようにすることが肝要である⁽²⁰⁾」。

児童憲章に手を付ける頃には、GHQの方にキャロルさんという人がいました。私のところのタケシちゃんという子が、ビア樽キャロルと言っていました。タケシちゃんはGHQに16回捕まって、16回石神井学園を逃げだしたという子です。ある時、キャロルさんが目を付けたんですね。ジープに乗って、彼女自

児童相談所運営・実務マニュアル

- ・ 児童福祉マニュアル（昭和26年1月）
- ・ 児童福祉必携（昭和27年3月）
- ・ 児童相談所執務必携（昭和32年3月）
- ・ 児童相談所執務必携（改訂版）（昭和39年3月）
- ・ 児童相談所執務提要（昭和52年3月）
- ・ 児童相談所運営指針（平成2年3月初版以降）



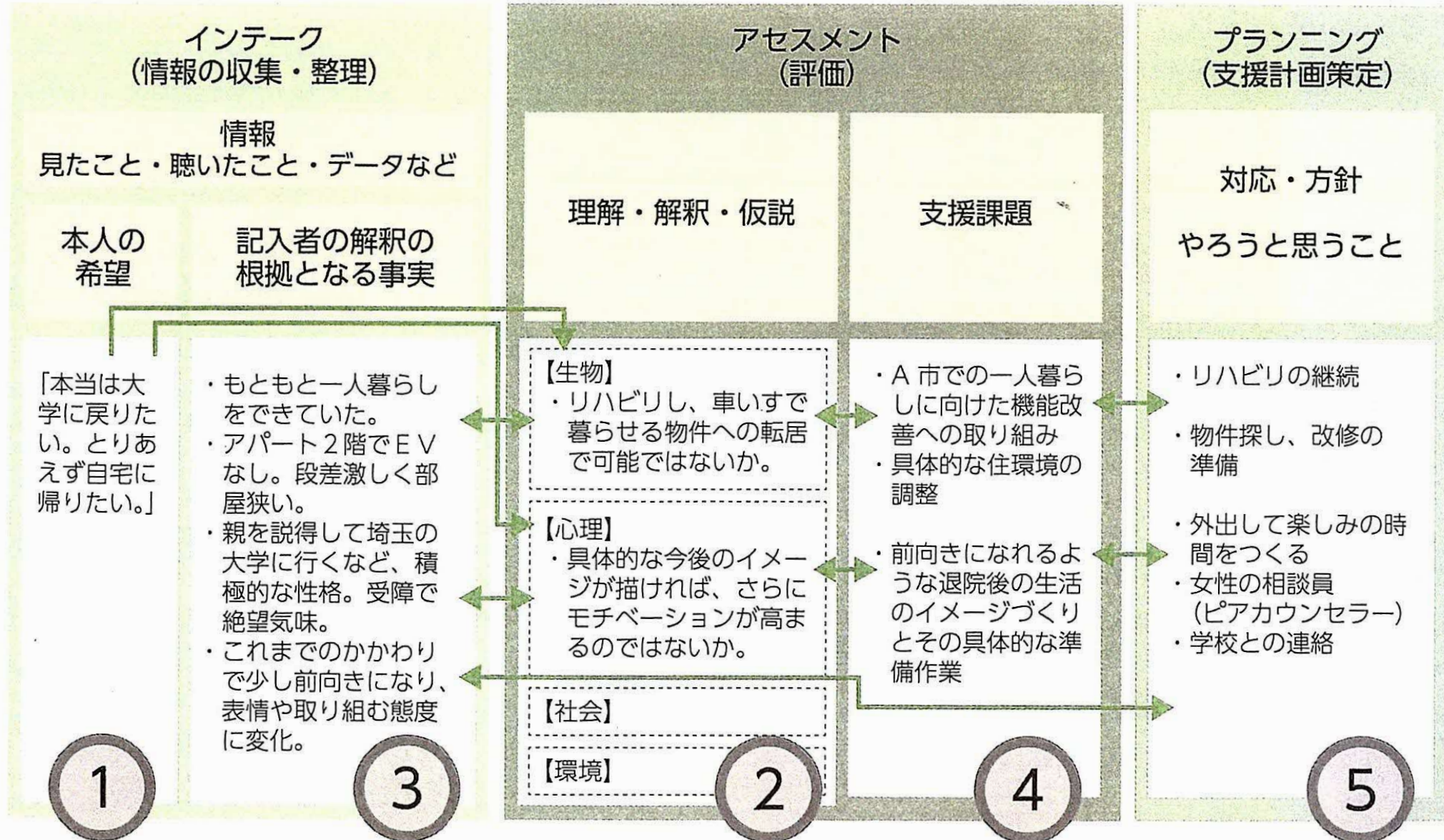
障害者 相談支援従事者 研修テキスト

初任者
研修編

日本相談支援専門員協会＝監修
小澤 温＝編集

中央法規

図 2-3 ニーズ整理票 (事例)



出典：「相談支援従事者研修ガイドラインの作成及び普及事業（平成30年度障害者総合福祉推進事業）」初任者モデル研修資料（2日目）、131頁、2018.

参考文献

- T・タタラ：占領期の福祉改革 福祉行政の再編成と福祉専門職の誕生。筒井書房、1997
- 臼田、玉城、河野：WHOの健康定義制定過程と健康概念の変遷について。日本公衆衛生誌、第51巻10号、2004
- C・ジョーンズ：アメリカの児童相談の歴史。明石書店、2005
- 藤井常文：キャロル活動報告と児童相談所改革。明石書店、2010
- N・ガミー：現代精神医学のゆくえ バイオサイコソーシャル折衷主義からの脱却。みすず書房、2012
- 渡辺、小森：バイオサイコソーシャルアプローチ 生物・心理・社会的医療とは何か？ 金剛出版、2014
- 詫摩佳代：人類と病 国際政治から見る感染症と健康格差。中公新書、2020